見通し・振り返りシート　4部3章6節　占領と日本の復興

年　組　番 / 名前

節の問い　**日本は、なぜ敗戦後わずか数年で独立を回復することができたのだろうか。**

1項　占領と民主化への道 p.320-327	**2項　冷戦と日本の経済復興** p.328-332	**3項　国際社会への復帰** p.334-338
【項の課題】占領下の日本では、どの程度民主化が進展したのだろうか。	【項の課題】冷戦の開始による国際情勢の変化は、日本の政治や経済にどの程度影響を及ぼしたのだろうか。	【項の課題】国際社会への復帰を果たしたにもかかわらず、解決しなかった外交上の問題があるのは、なぜだろうか。
【1項の振り返り】項の課題に答えよう。	【2項の振り返り】項の課題に答えよう。	【3項の振り返り】項の課題に答えよう。

【6節の振り返り】日本は、なぜ敗戦後わずか数年で独立を回復することができたのだろうか、あなたの考えを説明しよう。	（知・技） 評価：	（思・判・表） 評価：	（主） 評価：

【仮説の再確認】あなたが3章で表現した「近現代の特色の仮説」を再確認しよう。6節での学習内容を振り返り、何か考えたことがあれば、自由に書き出そう。	指導者コメント欄

※評価は2ページ目のルーブリックを活用しよう。

見通し・振り返りシート　4部3章6節　占領と日本の復興　ルーブリック評価表

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点について、次の基準を参考に自己評価してみよう。

	「知識・技能」の観点	「思考・判断・表現」の観点	「主体的に学習に取り組む態度」の観点
十分に到達できている（A）	占領と日本の復興について、資料や本文から読み取り、十分に理解できた。	日本は、なぜ敗戦後わずか数年で独立を回復することができたのかについて考察し、根拠に基づいてみずからの言葉で見解を表現できた。	自身の「探究する問い」と「近現代の特色の仮説」について、主体的に追究・検証しようとした。
一部は到達できている（B）	占領と日本の復興について、資料や本文から読み取り、おおむね理解できた。	日本は、なぜ敗戦後わずか数年で独立を回復することができたのかについて、一部については考察し、みずからの言葉で見解を表現できた。	自身の「探究する問い」と「近現代の特色の仮説」について、主体的ではないが、追究・検証する気持ちをもつことができた。
到達に努力を要する（C）	占領と日本の復興について、資料や本文から読み取れず、理解できなかった。	日本は、なぜ敗戦後わずか数年で独立を回復することができたのかについて考察できず、見解を表現できなかった。	自身の「探究する問い」と「近現代の特色の仮説」について、追究・検証しようとしなかった。